

# 経済的不平等が内戦の発生に与える影響\*

1230534 丸岡大洋

指導教員 矢内勇生

## 研究背景

内戦の発生原因に関する研究は多くあるが、経済的不平等尺度をより広い意味で捉え分析することで、先行研究と違う結果が得られるのではないかと考えた。先行研究において、土地の不平等など別の変数として用いられているものも、経済的不平等尺度として一つの変数にまとめると、先行研究で明らかになっていない経済的不平等の効果を推定できる。

## 研究目的

本研究の目的は、経済的不平等が内戦の発生に与える影響を推定することである。経済的不平等が内戦の生起確率に与える影響を調べるため、「所得のジニ係数が高いほど内戦の発生確率は上昇する」を検証する。

## 研究方法

所得のジニ係数が内戦発生の有無に与える影響を、ロジスティック回帰分析によって推定する。この際、過去の内戦発生の有無、一人あたり GDP、経済成長率をモデルに組み込む。所得のジニ係数、一人あたり GDP、経済成長率に関しては中心化したものをを用いる。

## 分析結果

所得のジニ係数が内戦の発生確率に影響を与えているかどうかは分からないという結果となった。

## 結論

所得のジニ係数が、低所得や保有資産の格差が内戦発生に与える影響の中間経路となっていると考えたが、経済的不平等が内戦の発生確率に影響を与えているかどうかはわからなかった。ただし、内戦の生起確率の予測値の可視化において、所得のジニ係数が増加すると内戦発生確率の予測値の点推定値が低下することが確認できた。

---

\* 本研究にあたって、指導教員である矢内勇生先生やゼミ同期の方々にはデータ分析から文章の記法まで、大変お世話になりました。多大なるご支援を賜り、厚く感謝申し上げます。